

各 関係施設 様

北海道老人福祉施設協議会
会 長 瀬 戸 雅 嗣

令和7年度全道老人福祉施設研究大会（第44回老人福祉施設研究発表会）における
研究発表（一般応募）の募集について

時下ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、現在、本会では標記研究大会（研究発表会）を下記のとおり開催することとして準備を進めており、今年も各施設における先駆的な取組み等の実践発表を予定しています。

つきましては、別添「募集要領」により貴施設内での研究並びに実践活動の発表を募集しますので、応募いただきますようお願いいたします。

記

1. 日 程 令和7年9月4日（木）～5日（金）

※9月4日（木）が発表日です。9月5日（金）は、講演会や優秀賞の表彰式等を行います。

2. 場 所

ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）

3. 送付資料

- （1）全道老人福祉施設研究大会（第44回老人福祉施設研究発表会）研究発表募集要領
- （2）研究発表の「応募用紙」様式
- （3）研究発表の「発表者抄録」様式

4. その他

申込み多数の場合は、法人や地域バランスや申込の順序を基準として、発表をお断りさせていただく場合がございます。お断りする場合のみ事務局より御連絡いたします。

5. 提出物について

- （1）「応募用紙」、「発表抄録様式」は、**6月25日（水）**までに
- （2）「当日映写用データ」及び「ノート掲載データ」は、**8月8日（金）**までに
roushikyo@dosityakyo.or.jpまでメールにて提出してください。

※容量が大きくメールに添付できない場合には、事務局までご相談ください。

事務局（北海道社会福祉協議会施設福祉課内） 【担当：宮川・佐久間】 TEL：011-241-3766（直） メール：roushikyo@dosityakyo.or.jp

全道老人福祉施設研究大会（第44回老人福祉施設研究発表会）

研究発表募集要領（一般募集）

1. 目的 道内の老人福祉施設において、総合的・実践的におこなわれている諸研究活動について、広く関係者が集い研究・討議することにより、高齢者福祉の向上と職員の意識の高揚を図ることを目的として実施します。
2. 開催日 令和7年9月4日（木）～5日（金）
9月4日（木） 10：30～発表者説明会
11：00～発表者データチェック、昼食
12：00～16：00分科会ごと研究発表（**1発表15分**質疑5分）
16：00～16：20特別発表
16：30～北海道老協臨時総会
17：30～情報交換会
9月5日（金） 9：00～研究大会（全国老協感謝表彰、全国老協基調報告、講演）
12：15～優秀賞等の発表・表彰
※1日目発表会の開始時間や2日目の終了時間は、発表者数や講師の都合により、若干前後する可能性があります。
3. 会場 ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）
4. 開催方法 会場への参集（今年度は、事後動画の配信は行いません）
5. 発表方法 発表者は上記会場で発表いただきます。（オンラインでの発表は不可）
6. 発表者 老人福祉施設、デイサービスセンター、老人保健施設等に勤務する職員
7. 発表時間 1発表20分（発表15分＋質疑5分）
8. 発表数 3つの分科会を設定し、各分科会につき最大8発表を予定しています。
9. 発表順番、テーマについて
テーマの区分は、①認知症対応 / 医療・介護連携、看取り②自立支援（LIFE・機能訓練、口腔、栄養）③経営④人材確保・育成・定着⑤在宅・デイ⑥軽費老人ホーム・ケアハウス⑦養護老人ホームの7区分です。事務局にて、テーマ区分ごとに同じ分科会に割振りを行います。お申し込み時に、必ず、自らのテーマを指定してください。（別紙「実践発表応募用紙」に記載すること。また、テーマごとの具体的内容は、※別紙を参考にしてください。）
10. 応募 同一施設内でも様々な取り組みがあることから1つの施設より複数の発表の応募も受け付けます。なお、応募多数で発表をお断りする場合には当方からご連絡致します。

11. 提出物 (1)「実践発表応募用紙」及び「発表抄録」

添付した様式を用いて、roushikyo@dosityakyo.or.jpあてに送信してください。

なお、事務局にて体裁を整えるため、PDFには変換せずに送信してください。

(2)「当日映写用データ」及び「ノート印刷用データ」

①当日映写用データ

文字原稿（ワードファイル）であればA4判（1行40文字×45行程度）横書きにて5ページ以内（資料等を含む）、パワーポイントについては30スライド以内（厳守）と致します。パワーポイントのバージョンは、office2016（win）です。これ以降のバージョンで作成したスライドは、アニメーション効果等が十分に発揮できない場合がありますので、データ作成時にご留意下さい。

②ノート印刷用データ

視聴者の手元資料ノートを作成するのでノート掲載用の原稿を作成して下さい。
⇒“PDFデータ”でノート用原稿を作成して下さい。パワーポイントスライドの場合には、印刷用に表示内容を整理した後、PDFに変換してください。ノート用PDFも30スライド以下（厳守）と致します。なお、1ページ6スライド＝最大5ページ（紙は縦）で印刷しますので、文字の大きさに注意して下さい。

12. データ提出締切日

(1)「実践発表応募用紙（Wordファイル）」及び「発表抄録（エクセルファイル）」

令和7年6月25日（水）【厳守】

(2)「当日映写用のデータ（パワーポイントなど）」及び「ノート印刷用データ（PDF）」

令和7年8月8日（金）【厳守】

※当日配布用ノートの作成が間に合わなくなりますので特に期限厳守をお願いします。

13. その他 下記評価項目にて採点を行い、分科会ごとに、最優秀賞1、優秀賞2を選定し、翌日発表・表彰いたします。上記の受賞とは別に、9.に記載したテーマごと得点の高い発表順に、全国老人福祉施設協議会主催の全国研究会議（令和7年12月4～5日、於：山口県）の発表者として推薦させて頂く予定です。

	内 容
評価項目	取り組みにおける問題意識が明確である。
	抄録原稿に取り組みと関係の深いキーワードが記載されており、内容の把握が参加者にとって容易である。
	当日発表資料で箇条書きやグラフがうまく使われ、参加者が理解しやすいよう工夫がなされている。
	抄録原稿と当日発表資料の説明が統一されており、参加者にとって見易い。
	発表態度（声の大きさ、身振り手振り、目配り）が参加者にわかりやすく、ポイントを押さえた簡潔な話である。
	会場内の質疑等に対し、適切に応答できている。
	参加者が自分の施設に持ち帰り、実践したいと思わせる発表内容である。 施設・事業所の規模等に左右されず、発表内容を実践することが可能である。

14. 問い合わせ、応募先

事務局（北海道社会福祉協議会 施設福祉課内）【担当：宮川/佐久間】

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 2階

TEL：011-241-3766/E-mail：roushikyo@dosityakyo.or.jp



第3回 全国老人福祉施設大会・研究会議 ～JS フェスティバル in 滋賀～ 分科会発表テーマ例

分科会	発表テーマ例	
第1-① 認知症対応等	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 認知症ケア ☞ 個別ケア ☞ 家族支援への取り組み ☞ 転倒予防・事故防止への取り組み ☞ 生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 看取りケア ☞ 医療・介護等多職種の連携 ☞ 誤嚥予防の取り組み ☞ 褥瘡等皮膚トラブルへの対応 ☞ コロナ・感染対策
第1-② 自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 評価尺度の活用 ☞ フィードバックの活用 ☞ DBD13 ☞ LIFE の活用に向けた体制の整備 ☞ LIFE 導入のための ICT 環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 評価基準の統一に向けた教育・研修 ☞ 課題の改善に向けたケアの見直し ☞ LIFE 関連加算に向けた取組 ☞ パーセルインデックス ☞ 多職種間での情報共有・意識の統一
第2 経営	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 経営力の向上 ☞ 社会福祉法人戦略(経営・運営) ☞ 経営の合理化・適正化 ☞ 2040 年を見据えた経営戦略 ☞ 社会福祉連携推進法人の活用による経営の効率化 ☞ 法人間のネットワーク化による経営効率化 ☞ 事業の多角化戦略 ☞ 稼働率アップのための方策 ☞ 加算取得戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ ICT 化などによる省力化とコスト削減 ☞ 効率的な研修・委員会の運営 ☞ 補助金を活用した事業展開 ☞ 保険外サービスの取組事例 ☞ 物価高騰への対応 ☞ 地域における公益的な取り組みの実践 ☞ 地域との取り組みの実践 ☞ 緊急時対応マニュアルの見直し ☞ 社会福祉法人の利用者負担軽減の取り組み
第3 人材確保等	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 介護人材確保戦略(介護助手等) ☞ 介護人材育成と定着 ☞ 潜在介護福祉士の復職支援 ☞ 介護職の魅力の見つけ方と伝え方 ☞ ユニークな福利厚生、採用方法 ☞ 上司、職員とのコミュニケーションの取り方 ☞ リーダー候補者の教育制度 ☞ 他業界からの採用 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 外国人介護人材定着と活用への課題と対応 ☞ 技能実習・特定技能制度の活用と展望 ☞ 外国人介護人材への教育制度 ☞ 女性のキャリアアップの支援・推進 ☞ 従事者の働きやすい環境づくり ☞モチベーションにつながるキャリアパスの形成 ☞ ロボット・ICT 導入による業務効率化 ☞ 地域と連携した人材確保
第4 在宅デイ	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 魅力あるサービスの提供と生き残り戦略 ☞ 生産性向上による効果的な取り組みと新たな価値の創造 ☞ ICT・LIFE 導入への取り組みと考察・分析 ☞ 根拠のある質の高いケアの実践 ☞ 多職種協働による自立支援・重度化防止の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 個別機能訓練・リハビリテーション・入浴における新たな取り組み ☞ 認知症の予防と対応力向上の取り組み ☞ 地域における栄養ケアの実態と今後の展開 ☞ 総合事業・地域支援事業の効果的な取り組み ☞ BCP 策定後の具体的な取り組み ☞ 地域の拠点となる活動と展開
第5 軽費・ケア	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 入居者確保に関する取り組みや広報戦略 ☞ 高齢者の住まい確保に関する取り組み ☞ 変わる利用者像への対応と家族との関わり ☞ 認知症ケア、高齢障害、精神障害、慢性疾患(難病を含む)の方への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 医療との連携や看取りの取り組み ☞ 災害及び感染症に係る BCP 等の取り組み ☞ 生活保護や生活困窮者自立支援法に関する取り組み ☞ 地域における福祉ニーズと地域貢献・地域連携

	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 入居者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ☞ 食べる楽しみと栄養改善に向けた取り組み ☞ 入居者へのエンパワメントや生きがい・役割作りの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> の取り組み ☞ 職員の確保・育成・定着や専門性向上の取り組み ☞ ICT等の活用による生産性向上と働き方改革
第6 養護	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 入所者の健康寿命の延伸・フレイル予防 ☞ 認知症ケア、高齢障害、精神障害、慢性疾患(難病を含む)の方への対応 ☞ 食べる楽しみと栄養改善や口腔衛生管理の取り組み ☞ 医療との連携や看取りの取り組み ☞ ICTの活用や生産性向上の取り組み ☞ 「計画書作成」と「記録」への工夫・改善への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ BPC(自然災害・感染症)の策定と具体的な取り組み ☞ 入所者確保に関する取り組みや広報戦略 ☞ 契約入所や高齢者の住まい確保に関する取り組み ☞ 触法入所者への支援や自立準備ホームの運営 ☞ 居住支援法人の指定と居住サポートへの取り組み ☞ 地域貢献・地域連携の取り組み ☞ 経営の適正化や人材確保に関する取り組み